

平成25年度 主要事業の進捗状況（消費生活班）

1 消費者教育推進に向けた、課題整理のためのワークショップ開催

（1）ワークショップ開催

3 グループに分かれ、グループ討議を実施。

ア 構成員 24名

内 訳 事業者（千葉銀行・イオンリテール（株）等）
行政（消費生活センター・環境局・経済農政局等）
団体（子ども会育成会・老人クラブ連合会等）
地域代表（大学生等）

イ 経過

8月 第1回 ワークショップ開催

9月 第2・3回 ワークショップ開催

12月 第4回 ワークショップ開催

1月 第5回 ワークショップ開催

（2）アンケート実施

ア 対面式アンケート

1,000人

（生涯学習センター・海浜病院・いきいきプラザ等 市内9カ所で実施）

イ インターネットモニターアンケート（11月1日～7日実施。現在分析中。）

1,266人

ウ 事業者・団体アンケート

100団体

2 高齢消費者の二次被害防止モデル事業（消費者庁実施事業への参加）

（1）モデル事業の概要

ア 定期的に電話をかけて注意喚起や見守りを実施。

イ 通話録音装置による悪質な電話勧誘の録音。

ウ 得られたデータを活用し、「検証会議」において、コスト・効果・課題等を分析・検証。

エ 当該事業を実施する地方自治体向けの手引きを作成。

（2）経過

9月 区役所と連携して参加者を募集。第1回目検証会議に参加。

10月 1回目の見守り電話の実施。参加者の自宅に通話録音装置を設置。

11月 2回目の見守り電話の実施。

12月 3回目の見守り電話の実施。第2回目検証会議に参加。

1月 4回目の見守り電話の実施。

（3）参加者の状況（11月20日現在）

112人（そのうち見守り電話のみの方 10人）

内 訳 中央10人・花見川21人・稲毛25人・若葉18人・緑18人・美浜20人